

2012年7月3日
株式会社バンダイナムコホールディングス
富士通株式会社

バンダイナムコグループ プライベートクラウドによる基幹システム共通基盤を構築 海外グループ会社も視野に、TCO を 3 割削減

株式会社バンダイナムコホールディングス（本社：東京都品川区、代表取締役社長：石川祝男、以下、バンダイナムコ）は、富士通株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：山本正巳 以下、富士通）と共同で、会計業務など SAP を中心とした基幹システムおよび各事業会社の業務システムについて、グループ主要会社での統一を目的とした共通基盤をクラウドによって構築しました。本年 4 月より国内主要会社で稼働を開始しており、今後は他の国内グループ会社へ展開、ディザスタリカバリー施策の実施、最終的には海外を含むグループ主要会社で稼働させる予定です。

これによりバンダイナムコでは、稼働する基幹システムにおいてグループ会社の全体最適を実現し、運用効率を大幅に向上、TCO の 3 割削減を見込んでいます。また、統一したシステム共通基盤を運用することによってグループ全体のガバナンスを強め、経営強化につなげることが可能となります。

バンダイナムコグループでは、従来、各事業会社でそれぞれ異なる基幹システムを構築・運用してきたため、各社で運用業務やシステムに関わる設備などが重複したり、異なるシステム間を連携するための作業が発生するなどの課題がありました。

これを受けバンダイナムコでは、2009 年に策定した中期 IT 戦略に基づき、TCO の削減、ガバナンスの強化を目的に ICT インフラに関し、グループ主要会社で統一していく方針を打ち立てました。

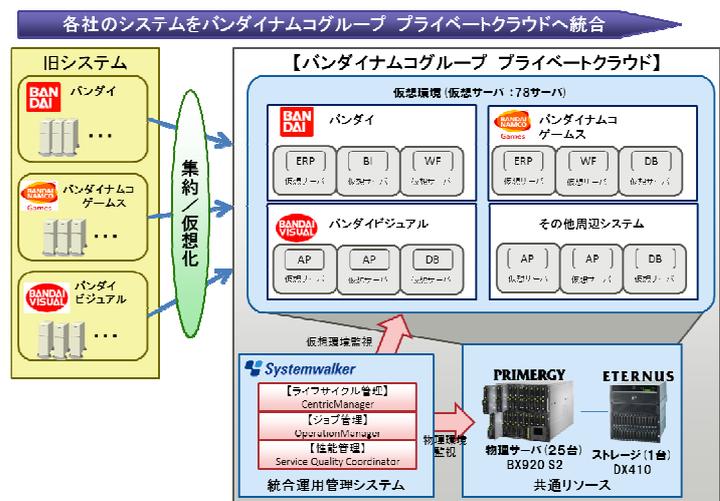
この方針に基づき、バンダイナムコは、グループ主要会社における会計業務などの基幹システムについて、SAP を中心に刷新した上で、富士通と共同で富士通データセンター内のプライベートクラウド環境において、他の業務システムもあわせて、ソフトウェア（注 1）や設計の標準化、運用の統一などを行い、共通基盤上に動く仕組みを構築しました。

本年 4 月に国内グループ 11 社（株式会社バンダイ、株式会社バンダイナムコゲームス、バンダイビジュアル株式会社など）がクラウド上で稼働を開始し、今後は株式会社ナムコを含む国内グループ 4 社への展開やディザスタリカバリー施策の実施、最終的には海外を含む主要グループ会社で稼働させる予定です。

共通基盤の構築により、グループ全体で最適化されたシステムとなり、運用効率が大幅に向上し、TCO の 3 割削減が見込まれます。またバンダイナムコグループが目指す海外を中心とした今後のビジネス拡大においても、クラウド環境により柔軟な対応が可能となります。

今後も富士通は、バンダイナムコグループの「世界で最も期待されるエンターテインメント企業グループ」のビジョン達成に向け、ICT の側面から支援していきます。

【 統合イメージ 】



【 商標について 】

記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

【 注釈 】

(注1) ソフトウェア：富士通製ミドルウェア「SystemWalker シリーズ」を導入。Systemwalker は、企業コンプライアンスを支える統合運用管理ソフトウェア。本システムにおいてシステムの統合監視・ジョブの運用・性能監視などを行い、システムを安定稼働させることでビジネス継続を実現。

以 上